

Marimekko: Art of Printmaking
—Beauty, Dream, Love

マリメッコ展

模様
の
ち
か
ら

marimekko

各 位

日頃より東京都庭園美術館をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当館では、2026年10月3日（土）－12月20日（日）の会期で「マリメッコ展 模様のちから | Marimekko: Art of Printmaking -Beauty, Dream, Love」を開催いたします。

ぜひ貴媒体にて本展をご紹介いただけますよう、お願い申し上げます。

展覧会概要

「マリ」に変更となりました。2026年9月5日追記

フィンランドを代表するデザインハウス、マリメッコ。その名は「**マリ**」のドレス」を意味します。1951年の創業以来、鮮やかな色彩と大胆な模様によって、ファッションからインテリア、テーブルウェア、日常の小物にいたるまで、私たちの暮らしを明るく彩るデザインを生み出してきました。

これまでに世に送り出されたプリント・デザインは3,500種類以上にのぼり、世代や国境を超えて広く支持されています。

マリメッコの創造を支えているのは、手仕事のぬくもり、色の響き合い、そして自由で前向きな精神です。ヘルシンキにある自社のプリント・ファクトリーでは、デザイナーやアーティスト、熟練した職人たちが協働しながら、新たなデザインの可能性を追求し続けています。

本展では、様々な年代の貴重なドレスやファブリック、制作過程を伝える資料を通して、マリメッコの美学と、その創造の背景に迫ります。さらに、ものづくりの中核をなすプリント・ファクトリーの現場を、アートユニット・plaplaによる映像インスタレーションで紹介します。ゲスト参加するデザイナー、皆川 明による展示にもご注目ください。

会場となる旧朝香宮邸は、1930年代フランスのアール・デコ装飾を基調とし、日本の意匠も随所に配された空間です。模様が建築の細部に息づくこの場所で、色とかがちがもたらす「模様のちから」に光をあてます。マリメッコのプリントメイキングの技と創造の美学をひもとく本展を、どうぞお楽しみください。



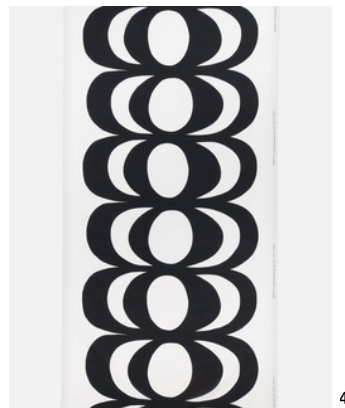
1



2



3



4

マリメッコについて

マリメッコはフィンランドのデザインハウスであり、世界に先駆けて誕生したライフスタイルブランドのひとつ。1951年にアルミとヴィリョ・ラティア夫妻によって設立され、喜びにあふれた人生とよりよく生きるための哲学を体现することをモットーとする。

高い美的感覚に基づくプリント作りの技で世界的に知られ、ヘルシンキにある自社のプリント・ファクトリーでは、デザイナーたちが熟練した職人たちと協力し、オリジナリティを追求している。すべての製品をードレスであれ、食器であれ、テキスタイルであれ—アートを生み出すキャンバスと捉えている。マリメッコの基盤となるデザイン哲学は、価値と質の両面において、永きにわたり色褪せることのないタイムレスなデザインを創造することである。

本展のみどころ

1. タイムレスな魅力を放つドレス

大胆なプリントと鮮やかな色彩、そして自由なエネルギーに満ちたマリメッコのドレス。創業者アルミ・ラティアが目指したのは、流行に左右されず、時代を超えて愛されるタイムレスなドレスでした。本展では、初期の貴重なドレスから現代のコレクションまで60点を超えるドレスを紹介。キャンバスに描かれた絵画のようにプリント模様が際立つ一着一着から、色と形の豊かな表現力を紐解きます。



5

2. ヘルシンキのプリント・ファクトリーから生まれる創造力

ヘルシンキのプリント・ファクトリーは、マリメッコの心臓部であり、「アートが生まれる現場」といえます。本展では、現地取材したアートユニット・plaplaxが、プリントが生まれる過程や色と形のダイナミズムを映像作品として表現します。変幻自在で色彩豊かな夢のようなインスタレーションを通して、プリント・ファクトリーのエネルギーを伝えます。



6

3. 模様が響き合う、旧朝香宮邸

会場となる旧朝香宮邸は、1930年代フランスのアール・デコ装飾を基調とし、日本の意匠も随所に配された歴史的建造物です。同時に、かつて人が暮らした邸宅でもありました。この模様に満ちた展示空間に、生命力あふれるマリメッコのプリントが加わることで、ドレスと建築の装飾が響き合います。時代を超え、国を超えて初めて出会うデザインが、この文化的な展示空間に新たな彩りをもたらします。

4. 日本とマリメッコをつなぐデザイン

マリメッコと日本は深く長い関係を築いてきました。1960年代には脇阪 克二、1970年代には石本 藤雄ら日本人デザイナーが活躍し、自然へのまなざしやシンプルな造形感覚においても、マリメッコのデザインと日本の感性には通じ合うものがあります。本展では、デザイナーの皆川 明がマリメッコと対話を重ね、その世界観を再解釈した新作インスタレーションが登場します。



7



8



9

- 展覧会特設サイト <https://marimekko-ex2026-2028.jp>
- 展覧会公式Instagram  @marimekko_ex2026_2028
- 展覧会公式X  @marimekko_2026

関連プログラム

- 1 哲学対話「ともに考える、対話する—朝香宮邸に花咲く“模様”」
展示を見た後、テーマや作品についてゆっくり対話しながら自分の考えを深めます。

企画 | 井尻 貴子 (NPO法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ)
ファシリテーター | 井尻 貴子、尾崎 絢子 (NPO法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ)
日時 | 2026年11月14日 (土) 13:30 - 16:00
会場 | 東京都庭園美術館 本館・新館ギャラリー2
参加費 | 無料 (当日有効の展覧会チケットが必要)
対象・定員 | 中学生以上・20名 (要事前申込、応募者多数の場合は抽選)

哲学対話
Philosophical dialogue

- 2 担当学芸員によるミニトーク
展覧会の見どころポイントをご紹介します。

日時 | 2026年10月22日 (木)・12月3日 (木) 14:30 - 15:00
会場 | 東京都庭園美術館 新館ギャラリー2
参加費 | 無料 (当日有効の展覧会チケットが必要)
定員 | 50名 (要事前申込、応募者多数の場合は抽選)

ミニトーク
Mini Lecture

- 3 フラットデー
障害がある方も、赤ちゃん連れの方も だれもが気兼ねなく来館できるプログラム

東京都庭園美術館は、あらゆる人がフラットに安心して楽しめる環境づくりに取り組んでいます。フラットデーは通常よりも入館者数を制限するため、ゆとりある環境で展覧会をお楽しみいただけます。

- ゆったり鑑賞日 | 2026年10月28日 (水) 10:00 - 18:00 (最終入場17:30)
多くの人で賑わう美術館に不安がある方も、普段よりもゆとりのある環境で鑑賞できる一日です。車椅子の方や介助等が必要な方も安心してお過ごしいただけます。
※ ゆったり鑑賞日は本館ではベビーカーをご利用いただけません。

- ベビーカー | 2026年11月11日 (水) 10:00 - 15:00 (本館内でベビーカーを利用できる時間)
赤ちゃんと一緒に暮らすご家族のみなさんに、気兼ねなく展覧会をご覧いただける時間です。
普段はベビーカーではお入りいただけない本館も、ベビーカーのままご入館いただけます。

上記のほか、会期中に様々なプログラムやワークショップを実施予定です。申込方法や最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。



1. 《ウニッコ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964
2. 《セイレーニ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964
3. 《イソ ウニッコ》マイヤ・イソラ 1964年/2023年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964/2023
4. 《カイヴォ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964
5. 図案・ドレス：アンニカ・リマラ《イソ ライネ》1965年/《ナッピメッコ》1967年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Annika Rimala 1965/1967
6. 《ウニッコ》柄のパサソルの下で、1965年 Under Marimekko Umbrella, 1965 Photo: Tony Vaccaro / Tony Vaccaro Archives
7. 東京都庭園美術館 本館 第一階段の模様 撮影：黒目写真館
8. 東京都庭園美術館 本館 食堂の壁面の模様 撮影：黒目写真館
9. 東京都庭園美術館 本館 正面外観 撮影：加藤新作

開催概要

展覧会名	マリメッコ展 ^{もよう} 模様のちから Marimekko: Art of Printmaking -Beauty, Dream, Love
会 期	2026年10月3日（土）－ 12月20日（日）
開館時間	10:00－18:00（入館は閉館の30分前まで） ※11月6日（金）、13日（金）、20日（金）、21日（土）、27日（金）、28日（土）、12月4日（金）、5日（土）は夜間開館のため20:00まで開館
休 館 日	毎週月曜日 ※ただし10月12日（月）、11月23日（月）は開館、10月13日（火）、11月24日（火）は休館
会 場	東京都庭園美術館 本館＋新館
観 覧 料	一般＝¥1,400（¥1,120）／大学生（専修・各種専門学校含む）＝¥1,120（¥890）／ 高校生・65歳以上＝¥700（¥560）（ ）内は20名以上の団体料金（要事前申請） ※本展は日時指定予約制です。ご来館前に当館ウェブサイトよりチケットをご購入ください。 ※10月28日（水）・11月11日（水）はフラットデー開催のため通常よりも入場者数を制限しています。予めご了承ください。 ※中学生以下は無料／身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料（ミライID含む・予約不要）／教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は無料（要事前申請）／第3水曜日（シルバーデー）は65歳以上の方は無料（予約不要）
主 催	東京都庭園美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
特別協力	marimekko
協 力	ヘルシンキ建築&デザイン・ミュージアム
後 援	フィンランド大使館
制作協力	S2
企画協力	東映
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーク Bloomberg Van Cleef & Arpels



会場情報

東京都庭園美術館 東京都港区白金台5-21-9

〔目黒駅〕JR 山手線東口／東急目黒線正面口より徒歩7分

〔白金台駅〕都営三田線／東京メトロ南北線1番出口より徒歩6分

TEL: 050-5541-8600（ハローダイヤル）

公式サイト www.teien-art-museum.ne.jp

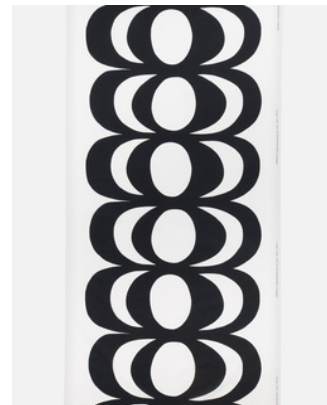
@teienartmuseum

お問合せ

美術館広報お問合わせ先

東京都庭園美術館 広報担当：中島 ^{なかじま}、飯塚 ^{いづか}TEL: 03-3443-0201 / FAX: 03-3443-3228 / MAIL: press@teien-art-museum.ne.jp

広報用画像



1. 《ウニッコ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964
2. 《セイレーニ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964
3. 《イソ ウニッコ》マイヤ・イソラ 1964年/2023年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964/2023
4. 《カイヴォ》マイヤ・イソラ 1964年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964
5. Fun in Finland 1964年 Photo: Tony Vaccaro / Tony Vaccaro Archives
6. 《ウニッコ》柄の parasol の下で、1965年 Under Marimekko Umbrella, 1965 Photo: Tony Vaccaro / Tony Vaccaro Archives
7. 図案・ドレス：アンニカ・リマラ 《イソ ライネ》1965年/《ナッピメッコ》1967年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Annika Rimala 1965/1967
8. 図案：マイヤ・イソラ 《ウニッコ》1964年/クリスティーナ・イソラ 2003年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola/Kristina Isola 1964/2003
9. 《シールトラブートルハ》マイヤ・ロウエカリ 2009年 © Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Louekari 2009
10. 「マリメッコ社のファクトリーにて、ファブリックがプリントされる様子」 Photo: Yuki Ogawa
11. ヘルシンキにあるマリメッコのプリント工場、1965年 Photo: Tony Vaccaro / Tony Vaccaro Archives *ハンドスクリーンでファブリックをプリントする様子

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	